

# 第4章 産業・観光・雇用分野

第1章 保健・医療・福祉分野	第1節 市民の健康づくりの推進	P46
	第2節 地域福祉の充実	P48
	第3節 高齢者福祉の充実	P50
	第4節 障がい者福祉の充実	P52
	第5節 社会保障の充実	P54
第2章 子育て・教育・文化分野	第1節 結婚・出産・子育て支援の充実	P58
	第2節 学校教育の充実	P60
	第3節 生涯学習の推進	P64
	第4節 青少年の健全育成	P66
	第5節 スポーツ活動の推進	P68
	第6節 文化・芸術活動の推進	P70
	第7節 国際交流の推進	P72
第3章 防災・防犯分野	第1節 消防・防災対策の充実	P76
	第2節 交通安全・防犯の充実	P80
	第3節 消費者対策の充実	P82
第4章 産業・観光・雇用分野	第1節 農林水産業の振興	P86
	第2節 商工業の振興	P90
	第3節 観光の振興	P92
第5章 都市基盤・生活分野	第1節 道路・交通網の充実	P96
	第2節 住環境の整備	P100
	第3節 公園・緑地の整備	P102
	第4節 上・下水道の整備	P104
	第5節 情報化社会の構築	P106
第6章 自然・環境保全分野	第1節 自然環境の保全	P110
	第2節 再生可能エネルギーの利用	P112
	第3節 循環型社会の形成	P114
第7章 参画・協働・行財政分野	第1節 参画・協働の推進	P118
	第2節 地域コミュニティの育成	P120
	第3節 人権尊重・男女共同参画・平和行政の推進	P122
	第4節 行政経営の推進	P126



## 第1節 農林水産業の振興

方向8	主食用米の消費を拡大する	活 力
方向19	生産基盤を強化する	快 適
方向20	健全な森林経営と活力ある林業を確立する	快 適
方向21	森林の持つ公益的機能（水源かん養・地球温暖化防止等）を発揮させる	快 適
方向41	豊かな自然、地域の特性を活かした農林水産業を展開する	らしさ
方向52	営農の組織化・農地の利用集積と担い手の育成・確保を推進する	つながり
方向53	地産地消を推進する	つながり
方向54	畜産の生産基盤を強化するとともに、耕畜連携を推進する	つながり
方向87	鳥獣被害対策と耕作放棄地対策を推進する	安 心
方向88	環境にやさしい農業を目指す	安 心



## 第2節 商工業の振興

方向9	雇用の機会を拡大する	活 力
方向42	地域資源を活かした企業支援を行う	らしさ
方向55	地域と一体となった商業振興を推進する	つながり



## 第3節 観光の振興

方向22	拠点施設を活かした観光を推進する	快 適
方向23	インバウンド対策を推進する	快 適
方向43	観光資源を発掘・磨き上げる	らしさ
方向56	地域と一体となった観光振興を推進する	つながり





# 第1節 農林水産業の振興

## 現状と課題

地産地消の取り組みに関心が高く、地元や県内生産物の消費意識が高くなってきています。一方で、農林業の振興について優先度が高い位置付けがあるにもかかわらず、現状には満足されていない状況があります。また、主食用米の消費低迷と過剰在庫による米価下落、農業生産コストの高騰、農作物への鳥獣被害の拡大などの課題も残されています。

今後、遊休農地の増加とその解消が喫緊の課題ですが、農林業の担い手育成・確保対策、生産振興対策が重要であり、特に中山間地域においては農家の高齢化・担い手不足が深刻化しています。

さらに、山林境界が不明瞭であり、所有者の高齢化・人口減が進む中、今後の森林整備に影響が現れています。

## 取り組みの方向と主な施策

方向8 主食用米の消費を拡大する

活力

- 米の消費拡大及び輸出拡大を推進します。

方向19 生産基盤を強化する

快適

- 農地の大区画ほ場整備を推進します。

方向20 健全な森林経営と活力ある林業を確立する

快適

- 木を「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の確立を図ります。
- 主伐を促進し原木を増産するとともに、間伐材の利用を促進します。
- 林道、作業道の整備を推進します。
- 林業の担い手の確保を進めます。

方向21 森林の持つ公益的機能（水源かん養・地球温暖化防止等）を発揮させる

快適

- 木質バイオマス利用などを含め、市産材の利活用を推進します。

## 方向41 豊かな自然、地域の特性を活かした農林水産業を展開する

らしさ

- 園芸作物の振興、団地化の推進と流通拡大を図ります。
- 特産農林水産産物の生産振興、農林水産業の6次産業化を推進します。
- 「やすぎどじょう」の産地づくりを推進します。

## 方向52 営農の組織化・農地の利用集積と担い手の育成・確保を推進する

つながり

- 営農組織の法人化を促進します。
- 多様な担い手の育成・確保（農業後継者、新規就農者、認定農業者、企業参入）を進めます。
- 集落営農組織の支援・育成を推進します。

## 方向53 地産地消を推進する

つながり

- 有機農産物の生産拡大と地産地消を推進します。（学校給食を含む）

## 方向54 畜産の生産基盤を強化するとともに、耕畜連携を推進する

つながり

- 「しまね和牛」産地として再生します。
- 農畜連携により循環型農業を推進します。

## 方向87 鳥獣被害対策と耕作放棄地対策を推進する

安心

- 安来市耕作放棄地対策協議会の活動を強化し、耕作放棄地再生利用支援制度の活用を進めます。
- 中山間地域農地を保全します。
- 有害鳥獣からの被害対策を推進します。
- 農地利用状況調査（利用意向調査）を実施します。
- 農地パトロールを実施します。

## 方向88 環境にやさしい農業を目指す

安心

- 有機農業など環境と調和のとれた営農を推進します。

## 目標指標

☆印…総合計画アンケート

指標の名称	単 位	現状値		方 向	めざそう値	
☆地元や県内でとれた農水産物を買っている人の割合	%	68.4	H26			H31
耕作放棄地	ha	63.7	H27		11.3	H31
集落営農組織	組織	49	H27		59	H31
新規就農者（5年間の累計）	人	11	H20 ～ H26		20	H31
認定農業者	組織	102	H27		121	H31
新規林業従事者数（5年間の累計）	人	3	H26		15	H31
環境直払対象農地面積	ha	37	H26		40	H31
荒廃農地（A分類）面積	ha	63	H26		62	H31
林道の整備延長	m	30,712	H27		31,355	H31
肉用牛飼育頭数	頭	1,339	H26		1,400	H31
有害鳥獣（イノシシ）駆除実績	頭	616	H26		700	H31
ほ場整備率	%	56.5	H26		63.0	H31

## 主な事業

- 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金
- 日本型直接支払制度（中山間地域直接支払、多面的機能支払、環境保全型農業直接支払）
- 新規就農者確保対策事業（青年就農給金等）
- 担い手育成確保支援事業（安来農林振興協議会・担い手育成総合支援協議会）
- 経営所得安定対策直接支払推進事業
- 斐伊川流域荒廃林等再生整備事業、森林整備地域活動支援事業
- 有害鳥獣捕獲対策事業
- 経営体育成基盤整備事業（大塚地区、安田地区、吉田地区、宇賀荘第三地区）
- 農地・農業用施設災害復旧事業
- 農業用施設維持管理事業
- 治山事業
- 中山間地域再生支援事業
- 第11回和牛能力共進会安来地区出品対策協議会運営事業
- 林業振興事業（水源の森づくり）
- 造林事業（市行造林地）
- 林道災害復旧事業、林道維持管理事業
- ふるさとの森再生事業

- 竹林等整備対策事業
- みどりの担い手確保緊急対策事業
- 河川工作物応急対策等整備事業（掛岩地区・団体営）（オケ崎地区・県営）
- 中山間地域総合整備事業・県営（広瀬・伯太）
- 一般農道整備事業（集落間型）
- 新農林水産振興がんばる地域応援事業
- 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業
- 林業活性化事業
- 畜産振興対策事業
- どじょう振興事業

## 分野別計画

- 農業の有する多面的機能の発揮に関する計画
- 農地中間管理機構（農用地利用配分計画）
- 安来市農業経営基盤強化促進基本構想
- 安来市農業振興地域整備計画
- 安来市バイオマスタウン構想
- 安来市森林整備計画
- 安来市木材利用基本方針
- 安来市鳥獣被害防止計画
- 農業農村整備事業管理計画



### 安来スタイル

日本有数の大区画ほ場整備により、更なる営農組織化・集積を促進します。



## 第2節 商工業の振興

### 現状と課題

中小企業創業者への人材育成や販路拡大、経営基盤強化など、支援の拡充の取り組みによる地域経済活動の活性化と就業の場や機会の充実が求められています。

また、地域の買い物環境の向上を図り、特色あるイベント等を展開するなど、楽しく魅力ある個店、商店街づくりを進め、商業の活性化による、買い物の便利さ・多様化への対応が求められています。

また、20代前半の主な転出理由は就職となっており、雇用環境の整備により、就学のために転出した若者が安来市に戻ってくる流れをつくる必要があります。

### 取り組みの方向と主な施策

#### 方向9 雇用の機会を拡大する

活力

- 企業誘致、新たな工業団地の造成を推進します。
- 求職・求人情報を充実します。

#### 方向42 地域資源を活かした企業支援を行う

らしさ

- 特殊鋼を活かした企業支援を行います。

#### 方向55 地域と一体となった商業振興を推進する

つながり

- 中心市街地、中山間地域等の地域に対応した商工業振興を図ります。
- 中小企業への販路拡大、技術開発支援、人材育成等の支援を行います。

### 目標指標

指標の名称	単 位	現状値	方 向	めざそう値
企業誘致及び立地促進による新規雇用者数（5年間の累計）	名	41 H26	↗	100 H31
新技術等の開発や取引拡大の支援件数（5年間の累計）	件	4 H26	↗	30 H31
ふるさと寄附の返礼品目数	品目	41 H26	↗	70 H31

指標の名称	単 位	現状値	方 向	めざそう値
支援事業を通じた新規創業件数（5年間の累計）	件	0 H26	↗	25 H31
求職・求人ポータルサイト「中海圏域就職ナビ」「中海圏域ワークネット」など登録事業所数	社	32 H26	↗	100 H31
事業を利用した空き店舗への出店数（5年間の累計）	件	2 H26	↗	10 H31

## 主な事業

- 電源立地地域対策交付金事業
- 産業サポートネットやすぎにおける企業支援（安来市夢追人支援事業など）
- ものづくり企業技術開発等支援補助金
- 企業立地雇用促進奨励金事業
- 工業団地整備事業
- ふるさと寄附推進事業
- 企業見学ツアー事業
- 就労支援事業
- 創業支援事業
- 中心市街地活性化事業
- 商業再生支援事業補助金
- テクノグループ補助金事業
- 商工会議所等補助金事業
- 学習訓練センター事業
- やすぎ刃物まつり事業

## 分野別計画

- 安来市創業支援事業計画



### 安来スタイル

安来市・島根県農業協同組合やすぎ地区本部・安来商工会議所・安来市商工会の4団体で組織された産業支援団体「産業サポートネットやすぎ<sup>8</sup>」により、個人、事業者、団体などの事業を応援しています。

また、特殊鋼関連企業の航空機・エネルギー分野への取り組みを支援しています。

#### 用語解説

<sup>8</sup>産業サポートネットやすぎ

安来市・島根県農業協同組合やすぎ地区本部・安来商工会議所・安来市商工会の4団体で組織された産業支援団体。



## 第3節 観光の振興

### 現状と課題

体験型・滞在型の観光を目指し、本市の海・山・川・等の優れた自然、歴史文化、農業・漁業等の豊かな資源の調査、発掘を関係者と連携をとりながら実践するとともに、全市的・広域的な新しい観光ルートを設定するなど、観光のまちづくりを推進することが求められています。

このため、安来市観光協会など観光事業団体の組織力強化が求められている一方、温泉施設や観光施設の老朽化等による整備も課題となっています。

また、全国的に観光資源の認知度が低いことと、松江・米子に挟まれ通過地点となることが危惧され、市内観光地を周遊する方策及び体制整備と二次交通の対策が課題となっています。

### 取り組みの方向と主な施策

方向 22 拠点施設を活かした観光を推進する

快適

- 市内各観光施設の適切な管理に努めます。
- 誘客推進事業を実施します。

方向 23 インバウンド対策を推進する

快適

- 広域観光を推進します。

方向 43 観光資源を発掘・磨き上げる

らしさ

- 安来節演芸館を核とした安来節振興を推進します。
- 効果的な観光情報を発信します。

方向 56 地域と一体となった観光振興を推進する

つながり

- 観光関連団体等を支援します。
- ヘルスツーリズム<sup>9</sup>など健康やスポーツを観光資源として活用することを検討します。

## 目標指標

指標の名称	単 位	現状値		方 向	めざそう値	
観光入込客数（5年間の平均）	万人	140.5	H26	↗	145.0	H31
宿泊者数	人	31,021	H26	↗	34,300	H31

## 主な事業

- 観光キャンペーン事業
- 月山富田城誘客推進事業
- 安来市観光協会補助事業
- 安来節振興事業、指定管理安来節演芸館
- 広域観光事業
- 市内各観光施設・温泉施設・県立自然公園管理及び修繕
- 新・ご当地グルメ開発事業
- インバウンド推進事業
- 月の輪まつり振興会補助事業
- 道の駅あらエッサ管理運営事業

## 分野別計画

- 安来市観光プラン（安来市観光協会策定）



月の輪まつり



## 安来スタイル

「安来市観光プラン」を基に、認知度が高い観光素材（安来節・どじょうすくい踊り、足立美術館）や興味度が高い観光素材（足立美術館・いちご・さぎの湯温泉・清水寺・フルーツ狩り他）を活かした観光振興を観光協会、民間事業者と連携して推進します。

### 用語解説

<sup>9</sup>ヘルスツーリズム

自然豊かな地域を訪れ、そこにある自然、温泉や身体に優しい料理を味わい、心身ともに癒され、健康を回復・増進・保持する新しい観光形態で、医療に近いものからレジャーに近いものまで様々なものが含まれる。